

第1回 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会 記録（概要）

- 1 期 日 令和2年6月3日(水) 他
- 2 委 員 10名
- 3 方 法 事務局が各委員に対し、下記「5 (3)報告及び、(4)協議」の各事項を説明し、質問、意見等を取りまとめた。

4 内 容

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 県教育委員会あいさつ
- (3) 報告
 - ① 東南置賜地区の県立高校再編整備計画について
 - ② 地域説明会及び意見聴取の概要について
 - ③ その他
- (4) 協議
 - ① 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討組織（案）
 - ② 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討内容（案）
 - ③ 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討計画（案）
 - ④ その他

5 発言要旨

- (3) 報告
 - ① 東南置賜地区の県立高校再編整備計画について
質問等なし。
 - ② 地域説明会及び意見聴取の概要について
質問等なし。
- (4) 協議
 - ① 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討組織（案）
意見等なし。案について了承。
 - ② 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討内容（案）
意見等なし。案について了承。
 - ③ 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討計画（案）
意見等なし。案について了承。

④ その他 ※米沢産業高校（仮称）への期待など

（委員）

- 昼間定時制を活性化できないか。学び直しも必要だが、それだけでない積極的な魅力化が必要になる。
- 新型コロナウイルス感染症予防の対応でオンライン講義を行ったが、講義はオンラインで代替可能なことが多いことが分かった。対面が必須なのはインタラクティブなもの、課題解決型学習（PBL）や実験、研究くらいではないか。そういった点で、本物の体験に強みをもつ産業高校というコンセプトは時代に合っていると見える。

（委員）

- 商業と工業を統合するというコンセプトが非常に良い。子どものニーズに応じた学びが可能になるのではないかと。また、定時制の昼間への移行は必須と考える。昼間に移行することでより社会とのつながりをもつ活動が増え、加えて、総合学科への移行によって、より個々の生徒の目的に応じた学びができるようになる。
- 米沢市は伝統的にもものづくりの街であるとともに、米織の商売を商業高校の卒業生が担うなど、ものづくりと商業が連携してきた歴史をもつ。また、両校ともに子どもの両親、祖父母が卒業生であることが非常に多い学校でもある。
- 米沢産業高校（仮称）は楽しみにしており、楽しみだと大きな声で言える学校にして欲しい。現在の中学校1年生が統合後の初の卒業生となるということを考えれば、統合はまだ先のこととは言えない。PRなどの広報も必要になる。

（委員）

- 昼間定時制への移行に賛成する。総合学科で多様な学びができるということだが、生徒数が少ないと配置される教員の数も少なくなり、多様な学びがどこまでできるか課題があると思う。

（委員）

- 世の中が変わってきている中、それぞれ単独で学ぶだけでなく、工業と商業の両方を学ぶことによって新たな力を生み出して欲しい。

（委員）

- 米沢工業高校定時制は、令和5年度入学生から工業科から総合学科に学科改編となり、令和8年度以降は総合学科のみとなるが、令和4年度入学生が、もし4年間で卒業できなかった場合、どのような対応となるのか心配している。

（委員）

- 策定委員会はコロナ禍にあるこのような状況であるので、今後の策定委員会について、オンラインでの実施も致し方ない。しかし、全員が参集しての策定委員会を一度は開催し、各委員の考えを感じたい。